

松波総合病院

地域医療支援病院委員会議事録

No. 1403

開催日時	平成26年12月24日(水) 15:30~16:00
開催場所	松波総合病院 南館1階講堂
出席委員名	平田俊文 富田栄一 塩谷裕久 高井啓一 横山元彦 渡辺勝美 馬場幹司 岩越誠 宮本正一 山北宜由 村井敏博 村山正憲 早崎正信 川崎艶子 足立明隆 (事務局・今枝篤希)

1. 議題及び審議内容

(1) 委員会事務局人員変更の件

事務局人員を前任の早崎より、今枝に変更した。

以上、委員すべて承認

(2) 当院の業務報告について

次の①～④について、事務局より26年度4月～11月の実績報告があった。

① 紹介患者に対する医療提供実績(紹介率及び逆紹介率)

- 平成26年4月～平成26年11月の紹介率65.9%(前年2.5%増)、逆紹介率は58.7%(前年8.7%増)となり、新基準数値をクリアした。

② 共同利用の実績

- 平成26年4月～平成26年11月の放射線科診断部門の共同利用率を前年と比較すると、MRは2.8%(28件増)減少、CTは0.4%(86件増)減少、PETは2.8%(10件増)増加、放射線治療は4.1%(3件減)減少した。

③ 救急医療の提供実績

- 平成26年4月～平成26年11月の救急車搬送件数は、前年より104件減少した。5月にシステム移動の為2日、7月に新館への患者移設の為3日、計5日間救急車の受け入れを停止したため減少となった。
- 救急車からの入院数は前年比で16件減少した。入院率は42.2%で1.2%増加した。

④ 研修開催実績

- 平成26年4月～平成26年11月の計12回開催され、院外362名の参加があった。
- 院外参加者の内訳は、医師94名、その他スタッフ174名、消防関係者94名であった。
- 新基準では年間12回の開催が要件となり、また医療従事者並びにそれに付随する者の参加が必須となるため今後は介護福祉関係の方への配慮したテーマが目標である

本年度の申請について

- 12月16日(火)に平成25年度の報告に対し岐阜県庁医療整備課による監査が行われた。特に指摘事項はなかった。紹介率も新基準になった本年度4月分の紹介内容を例として確認を行い、こちらも特に指摘はなかった。紹介状の管理について、電子カルテへコピーでの登録後、必ず原本に差し替えるよう指示があった。逆紹介の文面について不的確な文面がないよう注意するよう指示があった。救急応需体制の確認で北館の救急医療センター、手術室、ICU、HCUを確認された。

以上、委員すべて承認

(3)意見交換

- ・ 地域包括ケア病棟の現在の状況報告(平田委員長)
→当院では現在55床、4月からは60床で稼働しております。在院日数60日という縛りの中で以下のように運用しております。対象患者は、急性期の医療が終わって自宅復帰するまでにはまだ医療が必要な方等を対象としております。院外から患者様を受ける際、在宅の方でも具合が悪い方は、当院では急性期一般病床から受け入れる方針です。しかし、満床であれば地域包括ケア病棟から受け入れることもあります。(山北委員)
- ・ 障害者施設等一般病棟も4月から運用いたします。重度の障害を持っている方かつ難病(特定疾患)の方を対象とした病棟です。入院期間の縛りのない病棟ですので、在宅での療養環境が困難な方などにご利用いただく予定です。(山北委員)
- ・ 地域包括ケア病棟と障害者施設等一般病棟に関する統計を次回より委員会資料として報告して欲しい。(平田委員長)

以上、委員すべて承認

(4)次回の開催について

- ・ 平成27年3月25日(水)15時30分～16時00分を予定(30分繰り下げて開始)。場所は南館1階の講堂。後日、事務局より書面で通知する。

以上、委員すべて承認

以 上

委員長	病院長	経営企画部	事務局